

新型コロナ「困りごと」お聞かせくださいQ & A【飛騨市公式ホームページ】

【令和3年5月分】

5月25日～5月31日分（件数：1件）

1. 公共交通機関のワクチン接種について

Q 鉄道・バス・タクシーなど、公共交通機関で働く皆さんを対象としてワクチン優先接種をしてあげて頂きたいです。市だけでなく、全国的に外出自粛等で公共交通も不況の立場に置かれております。不特定多数の方と接し、医療従事者等同様、自らも感染リスクをおいながら、地域の公共交通を守って下さっています。幸い、各会社様で感染者が出ていないので対策がしっかりされてみえると思われそうですが、万が一出た場合、生活の足でさえ止めなければいけなくなる事かと思えます。市として、我々市民の大切な足を守って下さっている公共交通で働く皆さんへ是非早急の接種をしてあげてほしいです。

A 貴重なご意見ありがとうございます。

現在市のコロナワクチンの接種につきましては、国・県が定める接種優先順位に基づき、医療従事者、高齢者施設等の入所者及び従事者、居宅サービス事業所の従事者、高齢者の順に国から順次配給されますワクチンの入荷情報を収集しながら、接種計画を立てているところです。

この次に優先接種対象とされていますのは、64歳以下の基礎疾患を有する方とされており、ここまでは、国・県の方針に基づき接種を進めていくこととなります。

この後につきましては、国・県からは、特に優先接種対象の具体的な方針が示されていないため、当市も含め全国の自治体から、自治体の判断で優先接種対象者を決められるように国に要望をしており、政府からも自治体の意向を尊重するような発言が聞こえてきています。

このような状況の中で現在市では、投稿者様のご意見と同様に公共交通で働かれている方を含め、公的サービスの従事者を優先接種対象とするよう検討を進めています。

64歳以下の接種計画につきましては、決まり次第市民の皆様にご広報をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

5月19日～5月24日分（件数：4件）

1. 小中学校における感染防止対策について

Q 古川中学校の体育祭が無観客でした。どのように体育祭を開催するかを学校職員、PTA役員、教育委員会、生徒会執行部、体育祭応援団長等が話し合って決断したようです。目的として命を守ることでした。しかし、体育祭当日は数人観にきていたそうです。中には話し合いをした生徒の親さんもいたようです。誰もが応援したい中、そのような軽率な行動をしていたのは残念ですし、ものすごく腹をたてています。モラルとは何なんでしょうか。命を守るということをしっかり認識して頂きたいですし、子どもの手本となる行動をとってほしいです。1人の行動でコロナ感染が防げることを、考えて頂きたいです。

A 体育祭では、数人の保護者等が観戦に訪れていましたが、生徒会執行部の生徒が自らその人たちに丁寧に無観客のことを説明し、帰っていただきました。当初、堤防や旧国道に多くの保護者等が見えるのではと心配していましたが、多くの方々が子どもたちのことを思い、自粛していただけたこと、感謝しております。

今回の「無観客」は、感染状況悪化が近隣地域に迫る中での決断でした。市・市教委では、学校行事や教育活動を「子どもたちの命の安全を第一に考えること」「何事も中止ありきではなく、創意工夫して実施の可能性を探ること」としています。子どもたちの「学び」と「豊かな体験」を止めないためには、日常生活全般における感染防止対策の徹底と継続、行事・諸活動に対する保護者・地域の皆様のご理解とご協力が必要です。投稿者様の言われる「命を守ること」「モラル」についても、PTAや学校運営協議会を通して保護者・地域への啓発と徹底を進めていきたいと考えます。

2. 感染経路について

Q コロナ感染経路を知りたい。感染原因が分からないとどうやって対策していいのかわからないし何を信用していいのかわかりません。感染者が増えているのに説得力も無く危機感も無いの。

A 感染経路は保健所において調査されていますが、既に様々な場所でクラスターは発生しており、何よりウイルスは目に見えず無症状の方もみえるため、感染経路の特定は非常に困難な状況です。そうした中で投稿者様が非常に不安になられるお気持ちはよく理解できますが、「誰から」「どこ

から」感染したかを気にするのではなく、「誰もが感染している」と考えていただき、最後は「自分自身やご家族の感染対策に努める」しか身を守る方法はありません。これまで通りマスク着用、手洗いや手指消毒、密を避ける行動、体調管理等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

また、マスクの表面にはウイルスが付着しますので、「マスクの表面を触らない」、「マスクの表面を触ったら手洗いや手指消毒をする」ことも非常に大切です。

変異株への置き換わりが進む中、一人ひとりの基本的な感染対策がさらに重要となりますので、よろしく願いいたします。

なお、市では市内介護施設等で感染者が発生した際、他の感染者を早期発見、感染拡大防止を図るため、市独自に抗原定性検査キットを備蓄して迅速にスクリーニングを行える体制を整備しました。引き続き感染対策の呼びかけとともに、早期発見、拡大防止に努めてまいります。

3. 体育施設の感染対策について

Q 休日昼間、桜ヶ丘体育館で球技をしている多分中学生が、大声や奇声を張り上げている。無症状の感染者がいた場合、クラスターになりかねない。

A 施設利用者には体温管理、消毒、手洗い、3密の徹底をお願いしており、マスクについても、運動しているとき以外は着用を徹底して頂いておりますが、飛沫感染によるリスクを最小限に止める取り組みとして、指定管理者に依頼し、利用者にはなるべく大声を出さないよう注意を促します。

4. イベント、行事等での感染対策について

Q 先日、古川町公民館で「飛騨市誰でも自主講座」を受講しました。建物に入って、会場入口で受付をし、中に入るまでのどこでも体温のチェックはありませんでした。自分自身は家で毎日検温していますが、他の人のことはわかりません。「熱がある人や体調が悪い人は来ないはず」と思いたいですが、市内でも感染が増えているこの時期、会場でのチェックは必要と思います。会場内での受講者の間隔は保たれていましたが、このままでは今後、受講することが若干不安です。

A ご心配をお掛けして申し訳ございません。今後は公民館入口に非接触型体温計を設置し、利用する皆様の安全を守りたいと思います。そして、二酸化炭素濃度測定器を貸し出し、部屋の換気をつながすよう対応していきます。また、講師の方々には、受講者の方で熱がある人や体調が悪い人は参加させないよう引き続き依頼していくとともに、受講者の方から公民館に問い合わせがあった場合は欠席するようお願いしてまいります。

■ 5月12日～5月18日分（件数：2件） ※1件は個人が特定される内容のため非公開。

1. 屋外での飲食や活動について

Q 5/15 高山市で感染が広がり、県内ではGW中に家族間バーベキューでクラスターが発生したとニュースにある中、隣の家ではGWもこの週末も駐車場で若い方達が集まり奇声を上げて騒いでいます(今21:00)。お店の方々が大変な思いをして自粛している中、外でとは言え、お店が規制されている時間に集まり騒いでいること不安でたまりません。

A 飛騨警察署へ確認したところ、本件は騒音苦情ということで、警察が対応してくださいます。今後同じようなことがありましたら、110番通報をお願いします。

飛騨地域においても感染が広がっており、5月15日に岐阜県は高山市及び下呂市も「まん延防止等重点措置」の対象区域とすることを発表しました。飛騨市においても感染者が増えてきており、「市内なら安心」とは言えなくなりました。

この状況を乗り切るには、これまで同様の感染対策を徹底しながら、可能な限り、人と人との接触を減らす以外にはないと考えられています。

市といたしましては、引き続き市ホームページ、市SNS、同報無線放送などで、市内・市外への時の状況に合った感染対策の徹底を呼びかけてまいります。投稿者様におかれましては、屋外で気になる人たちを見かけた場合も接触を避け、引き続きご自身の感染対策をお願いします。